


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	




（注）令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。







（判断の要点）

個人消費は、スーパー販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているものの、宿泊や飲食サービスが足下で弱含んでいるなど、感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、生産用機械、輸送機械、電気機械が増加しているなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	

設備投資	2年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	2年度は減少見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	
企業収益	2年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	2年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	
企業の景況感	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	「上昇」超となっている（全規模・全産業ベース）	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染拡大が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

スーパー販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を下回っている。乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。宿泊や飲食サービスなどは、持ち直しの動きが続いていたものの、足下で弱含んでいる。

このように個人消費は、感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

(主なヒアリング結果)

- 感染症の影響により外食が控えられているなか、クリスマスケーキやおせちなどイベント関連の売上が好調だったほか、寿司や焼肉用の肉では普段より上質なものが売れている。(スーパー、大企業)
- 年末の家ナカの暮らしを充実させたいニーズが力強く、おせちやお歳暮が好調。ただし、11月後半から感染症再拡大の影響で客数が減少傾向にある。(百貨店、大企業)
- これまで落ち込みの大きかったビジネス街などに立地している店舗でも客足が戻ってきていたものの、感染再拡大やGOTOキャンペーンの一時停止を受け、足下では再び来店客数が減少している。(コンビニエンスストア、大企業)
- コロナ関連でマスクや消毒液などが引き続き売れている反面、マスクや手洗いの浸透により、風邪薬の売上が減っている。(ドラッグストア、大企業)
- 感染症の影響でメーカーから販売店への納品に遅れが生じ、売上につながらない状況が続いていたが、その状況も回復して、新車販売は前年同期を上回るなど、堅調に推移している。(自動車販売、中小企業)
- GOTOキャンペーンの効果もあり、10月以降、国内旅行に動きがみられたが、感染者が増加してきた11月下旬から徐々に旅行を控える動きがスタート、GOTOトラベルの一時停止を受け、キャンセルの動きが加速した。(旅行、大企業)
- コロナ第3波の影響で忘・新年会が全てキャンセルとなったほか、足下では緊急事態宣言の再発令を受け、新規予約が全く入らなくなった。客室稼働率は1割に満たない日もある。(宿泊、中小企業)
- 12月の売上は前年比6~7割となっていたものの、年明けの売上はほぼゼロとなっており、緊急事態宣言のもと1月8日から2月7日まで休業することにした。(飲食サービス、中小企業)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、生産用機械、輸送機械、電気機械などが増加しており、全体としては、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

なお、非製造業では、リース業の取扱高は前年を上回っており、情報サービス業及び広告業の売上高は前年を下回っている。

- 半導体製造装置は、国内をはじめ、中国や韓国、台湾でデータセンター、PC等の情報通信機器向けに需要が拡大し堅調。今後も5G関連の需要が拡大していくことが見込まれる。(生産用機械、大企業)
- 感染症の影響によって生じた減産分の挽回生産に加え、新型車のスタートダッシュ効果もあり、フル操業の状態だったが、足下では半導体不足の影響により生産調整を行っている。(輸送機械、大企業)
- 10~12月における主力の家電製品の生産動向は、外出自粛・在宅勤務など巣ごもり需要の拡大を背景に、ほぼ前年並まで回復した。(電気機械、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

完全失業率は低下しているものの、有効求人倍率も低下しているなど、雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

- 感染症の影響で生産がまだ完全には戻っておらず、現在でも従業員を交替で休ませているため、雇用調整助成金の特例措置期限延長には大変助けられている。(製造業、大企業)
- 感染症の影響で閉店が多くなっているため、雇用調整助成金を活用して従業員の一時帰休を実施している。(飲食サービス、大企業)

■ 設備投資 「2年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、情報通信機械などで増加見込みとなっているものの、生産用機械、自動車・同附属品などで減少見込みとなっていることから、全体では前年比3.9%の減少見込みとなっている。
- 非製造業では、金融業、保険業などで増加見込みとなっているものの、運輸業、郵便業、リース業などで減少見込みとなっていることから、全体では同4.9%の減少見込みとなっている。
- 全産業では、同4.6%の減少見込みとなっている。

- コロナ禍における業績を踏まえ、コスト削減のため、不要不急の設備投資は来期に先送りしたことから減少見込み。(生産用機械、大企業)
- 感染症の影響で利用客が減少しているなど、厳しい経営環境であることから、設備投資を抑制しており減少見込み。(運輸業、大企業)

■ 企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、石油製品・石炭製品などで増益見込みとなっているものの、化学、情報通信機械などで減益見込みとなっていることから、全体では前年比29.9%の減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、卸売業などで増益見込みとなっているものの、

運輸業、郵便業、学術研究、専門・技術サービス業などで減益見込みとなっていることから、全体では同25.9%の減益見込みとなっている。

○ 全産業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、同27.2%の減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『上昇』超となっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

○ 大企業は「上昇」超幅が拡大し、中堅企業は「上昇」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模・全産業ベースで3年1-3月期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- 都心・駅近など要件の良い分譲地の取得が困難になっており、土地の仕入れを積極的に行っていないことから、目玉となる大型分譲の販売がなく前年比マイナスで推移している。（建設、大企業）
- 感染症の再拡大に伴い、住宅展示場の来場者数が減少してきている。（建設、中小企業）

■ **公共事業** 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、国、独立行政法人等、都道府県は前年を下回っているものの、市区町村、地方公社・その他は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

■ **輸出** 「前年を下回っている」

○ 通関実績（円ベース、東京税関と横浜税関の合計額）でみると、輸出は前年を下回っている。なお、輸入も前年を下回っている。

■ **倒産** 「企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回っている」

3. 各都県の総括判断

	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
埼玉県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
千葉県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
東京都	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、下げ止まっており、横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、足下で弱含んでいる	➡	個人消費や産業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
神奈川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
茨城県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱含んでいる。
栃木県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
群馬県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。また、雇用情勢は、感染症の影響により、下げ止まりの兆しがみられるものの、弱い動きとなっている。
新潟県	新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、下げ止まりの兆しがみられるものの、弱い動きとなっている。
山梨県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。
長野県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、弱い動きとなっている。一方で、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。